



社会教育主事「K」&社会教育士「S」が行く



～砂川市の防災教育編～

みなさんこんにちは！ 社会教育主事「K」です。今月号から仲間が増え、タイトルが変わりました。今後は社会教育主事「K」と社会教育士「S」で砂川市の社会教育について紹介していきます！ 今回は防災教育について取り上げてみます。9月1日の「防災の日」にちなみ、学校の授業やネイパル砂川で防災に関する学習が行われ、参加した子どもたちはゲームやクイズなどを通して防災知識を深めました。



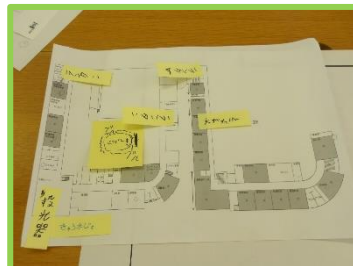
みなさん、はじめまして！ 社会教育士「S」です。今月号から、社会教育主事「K」と一緒に砂川市の社会教育の取組についてお伝えしていきます。どうぞよろしくお願いします。

9月5日（金）、空知太小学校の5年生が「避難所運営ゲーム北海道版（Do はぐ）」に挑戦しました。このゲームは、災害時の避難所でどのように人々を受け入れ、運営していくかを体験的に学ぶものです。砂川市役所防災対策係の指導のもと、子どもたちは次々と避難してくる人たちへの対応を考えながら、真剣に、そして時には熱い議論を交わしていました。

特に印象的だったのは、赤ちゃんのいる世帯への対応です。夜泣きによって他の避難者が休めなくなることを考え、音楽室のような防音環境のある場所へ案内するというアイデアが出された瞬間は、私も思わず「なるほど！」と感心しました。



◀ 対応に悩んだときは周りの大人に助言をもらいながら、適切な運営方法を考えました。



◀ 現状把握のため、支給された物品をふせんに書き込み、避難所の図に貼り付けました。



9月13日（土）・14日（日）には、砂川市少年消防クラブの宿泊研修がネイパル砂川で行われました。研修では、非常食体験や防災に関するクイズなどのレクリエーションを通し、災害に関する知識や技術を学びました。クイズの内容は自然災害だけでなく、火災報知器が設置されている場所や消火器の使い方など、日常生活に関わる防災知識も含まれており、チームで相談しながら答えを導いていました。正解すると、みんなで盛り上がり、喜びを分かち合っていました。



▲ 消防隊員の方から出題されるクイズに挑戦！身近なものから自然災害まで幅広い出題でした。

▼ 正しい答えを出すためにチームで相談。答えが割れても、理由を話し合い1つの答えを出しました。



▲ 不正解のときは、どこを間違えたのかヒントをもらいながら、改めて考えていました。